



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結） 平成16年8月11日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社 （コード番号：9048 東証・名証第一部）  
（URL <http://www.meitetsu.co.jp>）

代表者 取締役社長 木村 操  
問合せ先責任者 常務取締役関連事業部長 米原 浩一 (TEL(052)571-2111)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法： 無  
の変更の有無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況： 有 連結（新規） 1社 （除外）5社  
持分法（新規） 社 （除外）社

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況 （注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	179,743	0.0	6,671	7.2	4,927	33.9	2,075	123.7
16年3月期第1四半期	179,706		6,225		3,679		927	
（参考）16年3月期	783,548		35,571		27,720		20,914	

	1株当たり 四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	2.51	2.39
16年3月期第1四半期	1.13	1.10
（参考）16年3月期	25.49	24.03

（注）売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。四半期決算の開示は、16年3月期第1四半期より実施しておりますので、同期の前年同四半期との比較については行っておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

国内経済は、輸出や設備投資を中心とした企業収益の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、雇用情勢や年金問題等将来に対する不安から個人消費は依然回復感に乏しく、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期（平成16年4月1日から平成16年6月30日まで）における当社グループの営業収益は1,797億43百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益は66億71百万円（前年同四半期比7.2%増）となり、金融費用の減少に伴い経常利益は49億27百万円（前年同四半期比33.9%増）、当四半期純利益は20億75百万円（前年同四半期比123.7%増）となりました。

なお、当社グループでは、当四半期において新たに設立された名鉄バス（株）を連結の範囲に含めております。

一方、㈱渥美花の村、㈱伊良湖ガーデンホテル、㈱名鉄岡崎ホテル、㈱名鉄小牧ホテル及び㈱名鉄メディアの5社は、当四半期において解散結了により消滅しております。

事業の種類別セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

（運輸事業）

鉄軌道事業については、当社では、常滑線寺本駅ほかに月極駐車場を新設するなど「パーク＆ライド」の整備を積極的に進める一方、車体傾斜制御機能を装備した空港アクセス専用特急の新造に合わせて軌道設備等の改良を行い、利便

性と快適性の更なる向上を図っております。

バス事業については、乗合・貸切ともに依然低迷しておりますが、当社では、本年4月から開催されている「浜名湖花博」の会場へ名古屋観光日急(株)と共同運行で毎日運行しているほか、豊橋鉄道(株)や東濃鉄道(株)などでも、それぞれの拠点から会場までの運行を行うなど増収に努めております。

タクシー事業については、乗務員数の不足による減収等もありますが、当社三河線猿投・西中金駅間の廃止のあと本年4月から代替バスとして「さなげ足助バス」の運行を開始するなど、利用者の利便向上を図っております。

トラック事業については、企業の業績回復により取扱量は増加しておりますが、運賃単価は依然低下傾向にあります。海運事業及びコモータ航空等の航空事業は、概ね順調に推移しております。

この結果、運輸事業の営業収益は839億3百万円(前年同四半期比0.7%減)となりましたが、燃料費・委託料等の増加により営業利益は47億96百万円(前年同四半期比2.8%減)となりました。

#### (不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では前年名古屋市街地に建設した賃貸ビルによる増収に加え、愛知県西尾市の旧自動車営業所跡地に商業施設を誘致するなど資産の有効活用に努めておりますほか、(株)メルサでは銀座二丁目店の改装を行うなど、グループ各社において賃貸施設の収益性の向上を図っております。

不動産分譲業については、当社では多治見緑台などの東海地区の宅地分譲販売が概ね計画どおりに進捗しておりますほか、名鉄不動産(株)でも東海圏、首都圏のマンション需要が引き続き旺盛であり、堅調に推移しております。

この結果、不動産事業の営業収益は163億49百万円(前年同四半期比41.8%増)となりましたが、好況による資材単価の上昇や外注費の増加により益率が低下したため、営業利益は28億32百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

#### (レジャー事業)

ホテル業については、名鉄犬山ホテルなどでは顧客の様々な用途に応えるためレストラン等館内施設の改装をすすめる一方、岐阜グランドホテルやホテル穂高などではますます多様化する個人客のニーズに合わせたお得な宿泊プランを多数提供するなどし、需要の確保に努めております。

観光施設については、当社では明治村において「明治村トリエンナーレ'04 芸能・芸術祭」を開催中であり、その一環として吉本興業の若手芸人による「吉本純情笑学校」を公演し好評を得ておりますほか、リトルワールドでも「ハンガリーサーカス」や「世界の麵祭り」など様々なイベントを開催し、入場者数は前年同四半期を上回ることができましたが、その他の観光施設では、5月の連休期間中と6月の台風等の天候不順により利用者減少により概ね減収となりました。

旅行業については、海外旅行に回復の兆しが見られるものの、国内旅行では旅行単価は引き続き減少傾向にありますが、グループ各社では、協定ホテルや航空会社とタイアップしたインターネット予約のお得な宿泊セットプランを多数取り揃え、新たな顧客層の開拓を行っております。

この結果、レジャー事業の営業収益は189億91百万円(前年同四半期比3.9%減)となりましたが、不採算ホテル等の廃業で全体の収益性は向上したため、営業損益は前年同四半期に比し7億92百万円改善され14億52百万円の損失となりました。

#### (流通事業)

従来からのデフレ傾向の持続及び春先の天候不順の影響による季節商品の低迷に加え、本年4月からの消費税の総額表示以降食料品や消耗品での客単価低下により小売業界は厳しい競争状態が続いておりますが、(株)名鉄百貨店では、本年4月から名鉄協商(株)などが運営する東海3県の鉄道駅周辺にある契約駐車場6,500台分を新たに加え顧客の利便性を高める集客策「パーク&ライド作戦」を展開しておりますほか、各社において積極的な営業施策、不採算店舗の撤退及び仕入コストの削減等を行い収益性の改善に努めております。

この結果、流通事業の営業収益は612億70百万円(前年同四半期比2.2%減)となり、営業利益は4億49百万円(前年同四半期比50.3%減)となりました。

#### (その他の事業)

保守設備事業については、当四半期での保守整備の完成高が前年同四半期に比べ減少したため減収となりました。空港関連事業については、国際線の需要回復により売上は前々年の水準までほぼ回復しております。

この結果、その他の事業の営業収益は142億71百万円(前年同四半期比7.2%減)となりましたが、前期末の子会社合併等による間接部門の経費圧縮などが寄与し、営業損益は前年同四半期に比し4億44百万円改善され70百万円の損失となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	1,313,319	174,538	13.3	210.92
16年3月期第1四半期	1,299,159	131,887	10.2	161.09
(参考)16年3月期	1,311,103	175,675	13.4	212.25

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末においては、総資産が前期末に比し22億15百万円増加しております。これは、資産の部において営業債権が回収により77億58百万円減少した一方、主として受注工事の進捗に伴う保守設備事業等のたな卸資産が52億62百万円増加したことと当社における建設仮勘定が52億44百万円増加したことによるものです。負債の部は36億14百万円増加しており、主として買掛金等支払債務が99億17百万円減少した一方、借入金等有利子負債が50億74百万円、及び受託工事に係る負担金の前受額が50億80百万円それぞれ増加したことなどによるものです。また、資本の部は、土地再評価差額金が取崩により7億37百万円減少しているほか、利益剰余金が当期純利益と配当金等の利益処分を加減し40百万円減少しております。

(参考1) 第1四半期個別経営成績等の概況(平成16年4月1日 ~ 平成16年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第1四半期	29,255 4.1	5,809 8.0	4,927 28.3	2,752 17.0
16年3月期第1四半期	30,510	5,377	3,839	2,353
(参考)16年3月期	120,843	19,275	13,214	5,709

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	842,115	164,658
16年3月期第1四半期	811,980	142,195
(参考)16年3月期	833,219	164,676

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	367,000	10,100	7,100	
通期	773,000	25,800	2,500	3.02

当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、当社グループは、「名鉄グループ新中期経営計画」の実現に向けて経営に邁進しております。連結ベースの業績では、燃料費や外注費などの高騰が懸念されるほか一部の持分法適用会社の業績悪化が見込まれるため、平成17年3月期の中間期及び通期の経常利益については、本年5月24日発表の当初の業績予想を下回る見込みであります。また、当期純利益については、中間期は経常利益の減少により当初の業績予想を下回りますが、通期は法人税等の負担軽減などにより当初の業績予想からの改善を見込んでおります。なお、個別の業績については、当初の業績予想からの変更はありません。

この業績予想は発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(参考2) 平成17年3月期の個別業績予想(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	58,000	6,600	1,300	0.00	—	—
通期	108,200	11,800	1,500	—	未定	未定

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表・(要約)四半期連結損益計算書・セグメント情報

## 添付資料

## (要約)四半期連結貸借対照表

科 目	当第1四半期 (平成16年6月30日現在)	前第1四半期 (平成15年6月30日現在)	増減金額	前 期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	百万円
流動資産	247,647	254,471	6,823	244,153
現金及び預金	44,534	50,901	6,367	39,874
受取手形及び売掛金	66,046	66,179	133	73,804
有価証券	131	59	71	358
分譲土地及びびたな卸資産	105,943	100,544	5,399	100,047
繰延税金資産	5,541	5,738	197	5,738
その他	29,014	32,083	3,068	27,902
貸倒引当金	3,563	1,034	2,528	3,573
固定資産	1,065,496	1,044,443	21,053	1,066,770
有形固定資産	876,448	874,718	1,730	875,476
無形固定資産	13,243	12,790	452	13,491
連結調整勘定	957	-	957	918
その他	12,285	12,790	505	12,573
投資その他の資産	175,804	156,934	18,869	177,801
投資有価証券	119,624	82,989	36,634	120,388
繰延税金資産	23,336	38,119	14,783	24,587
その他	34,646	39,816	5,169	34,722
貸倒引当金	1,803	3,992	2,188	1,897
繰延資産	175	245	69	179
資産合計	1,313,319	1,299,159	14,159	1,311,103
(負債の部)	百万円	百万円	百万円	百万円
流動負債	535,646	568,543	32,897	533,917
支払手形及び買掛金	87,715	87,153	561	97,632
短期借入金	283,088	308,983	25,895	280,599
1年以内に償還する社債	15,000	33,028	18,028	15,000
繰延税金負債	16	24	8	2
従業員預り金	34,815	36,941	2,126	35,025
その他	115,010	102,411	12,599	105,656
固定負債	583,444	579,343	4,100	581,558
社債	146,217	145,917	300	145,917
長期借入金	309,366	298,060	11,305	306,871
繰延税金負債	46,911	45,326	1,585	46,771
退職給付引当金	51,151	51,495	344	50,659
連結調整勘定	-	923	923	-
その他	29,797	37,620	7,822	31,337
負債合計	1,119,090	1,147,886	28,796	1,115,476
(少数株主持分)				
少数株主持分	19,690	19,385	305	19,952
(資本の部)				
資本金	74,357	74,357	-	74,357
資本剰余金	8,653	6,040	2,612	8,637
利益剰余金	14,237	335	13,902	14,278
土地再評価差額金	48,174	44,028	4,146	48,911
その他有価証券評価差額金	31,258	10,331	20,926	31,586
為替換算調整勘定	1,940	2,815	875	1,934
自己株式	201	389	187	161
資本合計	174,538	131,887	42,650	175,675
負債、少数株主持分及び資本合計	1,313,319	1,299,159	14,159	1,311,103

## (要約)四半期連結損益計算書

	当第1四半期 平成16年4月 1日から 平成16年6月30日まで	前第1四半期 平成15年4月 1日から 平成15年6月30日まで	増減金額	前 期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益	179,743	179,706	36	783,548
営業費	173,071	173,481	409	747,977
1 運輸業等営業費 及び売上原価	151,809	152,351	541	665,347
2 販売費 及び一般管理費	21,262	21,129	132	82,629
営業利益	6,671	6,225	445	35,571
営業外収益	1,056	1,077	21	5,533
営業外費用	2,800	3,623	823	13,384
経常利益	4,927	3,679	1,248	27,720
特別利益	1,317	1,329	11	24,357
特別損失	1,297	1,282	14	22,278
税金等調整前四半期 (当期)純利益	4,947	3,725	1,222	29,798
法人税、住民税 及び事業税	1,884	1,444	440	6,781
法人税等調整額	1,291	1,847	555	1,858
小計	3,176	3,291	114	8,640
少数株主損益	304	493	189	243
四半期(当期)純利益	2,075	927	1,147	20,914

## セグメント情報

### 【事業の種類別セグメント情報】

<当 第 1 四 半 期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日)>

	運 輸 事 業	不 動 産 事 業	レ ジ ャ ー 事 業	流 通 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	82,760	13,667	17,794	58,635	6,884	179,743	-	179,743
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,142	2,681	1,196	2,635	7,387	15,042	(15,042)	-
計	83,903	16,349	18,991	61,270	14,271	194,785	(15,042)	179,743
営業費用	79,106	13,517	20,443	60,820	14,342	188,230	(15,158)	173,071
営業利益又は営業損失( )	4,796	2,832	1,452	449	70	6,555	116	6,671

<前 第 1 四 半 期 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日)>

	運 輸 事 業	不 動 産 事 業	レ ジ ャ ー 事 業	流 通 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	83,290	8,906	18,215	59,554	9,738	179,706	-	179,706
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,177	2,624	1,540	3,068	5,640	14,052	(14,052)	-
計	84,468	11,531	19,756	62,622	15,379	193,759	(14,052)	179,706
営業費用	79,535	8,383	22,001	61,718	15,894	187,533	(14,051)	173,481
営業利益又は営業損失( )	4,933	3,148	2,245	904	514	6,226	(0)	6,225

<前 期 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)>

	運 輸 事 業	不 動 産 事 業	レ ジ ャ ー 事 業	流 通 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	340,672	72,656	85,417	234,801	50,001	783,548	-	783,548
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,824	10,869	4,722	10,752	31,803	62,972	(62,972)	-
計	345,497	83,526	90,139	245,553	81,804	846,521	(62,972)	783,548
営業費用	326,209	69,663	91,437	243,747	79,794	810,852	(62,874)	747,977
営業利益又は営業損失( )	19,287	13,863	1,297	1,805	2,010	35,669	(97)	35,571

(注) 1. 事業区分は日本標準産業分類をベースにした区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 運 輸 事 業……………鉄道、乗合・貸切バス、タクシー、トラック、海運
- (2) 不 動 産 事 業……………不動産の分譲・賃貸
- (3) レジヤ ー 事 業……………ホテル・レストラン・観光施設の経営、旅行あつ旋
- (4) 流 通 事 業……………百貨店・ストア業、石油製品等の販売、商品販売
- (5) そ の 他 の 事 業……………設備の保守・整備、建設、情報処理等